

甲州市市民協働に関する指針策定委員会

第1回委員会 会議要旨

平成22年7月29日(木)午後7時30分

市役所本庁舎1階 国際交流市民交流センター

1. 開会

2. 正副委員長の選出

委員長 日高昭夫委員 副委員長 田辺裕人

3. 正副委員長あいさつ

委員長あいさつ

行政と連携して進めることが重要になってきている。

各分野で活躍されている皆様方と一緒に地域を考え、新しい地域づくりをすすめていきたいと思う。

副委員長あいさつ

市民協働をみなさまと一緒に勉強しながら進めて、日高先生をサポートできるようにがんばっていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

4. 議事

1) 研修会

テーマ「今、なぜ市民協働か」

講師 日高昭夫先生(山梨学院大学教授)

パワーポイントを使い講演

2) 今後の進め方について 議長 日高委員長

資料3に基づき説明を行う。(事務局)

資料4 山梨市の協働事業推進の方針(概要版)を紹介する。

3) 意見交換

委員

- ・市の説明と先生の説明が一致していないように感じたが。
- ・日高先生の説明を聞くと市の根幹に関わること。協働について、小

さく考えていたが、もっと大きいものであると感じた。

委員

- ・条例化することは、協働に沿うことなのか。
- ・協働とは議会で決めることなのか。

委員長

- ・市では、はっきり決まっているわけではない。
- ・首長、議員は選挙で選ばれる。今の制度や地方が抱える問題を根底から考えていくのか、あるいは行政との協働を個別の事業として捕らえるかは、まちまちである。
- ・広い意味で捉えると、自治基本条例として進めるのかどうするのか、議論していく必要があると思う。皆さんでの話し合いで決めていく。いい指摘をしていただいた。

委員

会議を5回で決めていくのは、きついのではないのか

事務局

1年目は、指針の策定を行い、基本的に進める方向を定めたい。しかし指針だけ作ればいいというのではなく、その先を見据えて進めていきたい。委員会ですべてを決めるのではなく、職員プロジェクトチームで調査を行い、たたき台をつくり、進めていきたいと思う。

委員

基本理念を決めるのであれば、もっと絞りこんだ内容を用意してもらえると進めやすい。具体的に参考となる他市の様子を知りたい。

委員長

- ・松戸市はもめた。大きく広げすぎて大変だった。
- ・現実的には、市長の諮問機関の範囲として、行政との協働を進める

ことに重点を置くといいのではないか。住民が進めやすいことが大切、現実的に考えていくことが大事ではないか。

- ・今年是最初のステップ、今より活動しやすくするには、どうしたらよいのか、考えた方がよい。

委員

- ・イメージがわからない。
- ・山梨県の中での甲州市の現状はどうか。サンプルがほしい。参考にしたい。

委員長

県内では都留市や山梨市で盛ん。南アルプス市も活動をしている。

事務局

県内県外の例を用意したいと思う。

委員

- ・山梨市の策定の期間を知りたい。
- ・甲州市は3年で進めるようだが、山梨市の事例で、先生に、お聞きしたい。先生が行った全国での調査で、比較すると広報の配布、防犯・カーブミラーは全国より高い、逆に低い項目がある。調査を元に提案をしているのか。

事務局

- ・山梨市平成20年度に策定している。1年間で策定した。委員は20人委嘱し、構成は区長会やボランティアの方など甲州と同じ。

委員

甲州市として、策定委員会のメンバーやプロジェクトチームとのマッチングなどは山梨市も同じか。

事務局

ほぼ甲州市と同様である。

委員長

- ・全国との比較調査は、今年度まとめていきたい。
- ・都市部との比較はそのままできない部分もあるので、解釈が難しいところである。市役所では、協働と言っても、推進室の仕事だと感じている職員が多いと思うが、そうではなく、すべての課がその意識を持って進めることが必要である。

委員

具体的に甲州市で行うには、どうしていくとよいのか。

事務局

- ・現状を把握して、すでに協働している事例について調査していく。
- ・調査の結果は、次の会議には提出したいと思う。

委員長

- ・次回は、市の現状を把握することと、NPOなどで活動している方から課題や問題点を出していただき、それをどうしたらよいのかについて、考えていきたい。

委員

- ・甲州市交流まちづくり協議会でご当地検定を行った。マップづくりも行った。
- ・行政だけでは情報が集まっていなかった。ガイドマップを作ったので、地域資源を知ることができた。情報を市民が共有するといい。なぜ、行政ではできなかったか。今の業務が忙しく、新たに事業に取り組むことが難しい現状。試行錯誤はあるが、行政としての取り組みを変えるタイミングかもしれない。

委員長

- ・役所の文化を変えていくことが必要である。やってみないとわから

ないことは多い。

- ・ある自治体では、協働を推進するため、公共施設のコピーなどの貸し出しを始めたが、夜間や休日は施設が休みで、使い勝手が悪いという話を聞く。そういった問題をどうしていくのか。

委員

スケジュールと実施体制の確認をしたい。

事務局

- ・策定委員会、推進本部、職員プロジェクトチーム、すべてが同時進行していく。
- ・条例を策定するかは議論の過程で考えていきたい。

委員

委員会は3月までということか。

事務局

委員さんの任期は3月までなので、2年目以降は、新たに構成していく予定。

委員

- ・子育て関係でNPOをやってきて、市の委託事業をしてきて感じることは、他市町村とくらべると遅れていると感じる。NPOへの支援をもっと進めてほしいと感じている。
- ・子育て支援といっても、母子だけに限定するのではなく、公民館活動、区の活動を通して進められることを望んでいる。

委員

- ・さまざまなことに関わっているが、この会のような組織ができれば意見を言える場があるし、ご指導もいただける。
- ・まちを元気にしていくため、みなさんと考えていきたいと思うので、よろしく願いしたい。

委員長

協働がイメージできるように、指摘された資料について、次回の会議に向けて事務局で用意してもらいたいと思う。

事務局

- ・次回は9月下旬を予定している。
- ・都合の悪い日があれば伺いたい。時間は夜を予定。

委員 月曜日が都合がよい。

委員長 月曜日は都合が悪い。

事務局 追って通知を出させていただきます。

6 . 閉会 午後 9 時 30 分